

**能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育
第14回 研究発表会 能勢高校SGH中間発表会 開催要項**

**研究主題 『つながる』 教育の充実をめざして
～ 次代を担う人材の育成 ～**

1. 日 時 平成28年11月22日（火）受付開始 13:00
2. 会 場 能勢ささゆり学園 （施設一体型小・中学校）
住所 〒563-0364 豊能郡能勢町平野110番地
Tel 072-743-9028 Fax 072-743-9029
3. 主 催 大阪府教育庁 能勢町教育委員会
4. 内 容

授業公開 13:30～14:20 【本校各教室】

領域	授業内容	校種・学年	授業者	場所
グローバル 能勢 能勢全体を学びのフィールド、地域の方を学びの支援者と捉えて、自然や歴史、産業、伝統文化などを学習する	共生社会に向けて、様々な体験を通して考えを深め、行動へつなげていく学習活動	中学校2年生	徳丸 裕貴 松本 彩 辻 信義 伊藤 浩介	多目的室 (1F)
	地域の指導者とともに行う男女共修柔道の実践	中学校3年生	松尾 美賀 川本 重樹 石黒 隆介	第2体育館 (1F)
	『社会福祉基礎』 地域の社会福祉の現状の理解と今後の取組み	能勢高校 2年生・3年生	片山 洋一 山本 修三 三恵園職員	中学校 3年B組室 (3F)
グローバル 英語 「伝えたい」「聞いてみたい」といったオープンマインドを大切に「コミュニケーション力」育成を軸とした学習活動	すくすくトークでインタビューの練習をする	小学校5年生	佐藤 亮介 平田 キャサリン(ALT) 谷 貞美	イングリッシュルーム1 (3F)
	英語の多読・多聴指導の取組みを通じて、複数の技能を統合した英語指導の実践	中学校3年生	山田 善紀 ブランディ・ハフ(ALT) (英語教育支援員3名)	イングリッシュルーム2 (3F)
キャリア教育	『SGH講座』 bingoゲームで動詞学習、インタビュー形式で英会話	中学校3年生 能勢高校1年生	ロバート・ノーマイル 臼井 美穂	中学校 3年C組教室 (3F)
	『よのなか科』 ブレストを用いてアイデアの発想・結合について学ぶ	中学校1年生 能勢高校1年生	井田 周子 岡崎 紘 山内 逸平 横山 政幸 泉 由子 池長 賢	中学1年教室 (3F)

全体会【第I部】 14:35~15:35 【本校体育館】

オープニング 『グローバル能勢 発表』

タイトル『ここはふるさと～能勢三番叟(人形淨瑠璃)～』6年生全員

これまで、グローバル能勢の学習で、古墳や城など能勢の歴史の深さを学んできた6年生。今回、能勢の伝統文化「淨瑠璃」に挑戦しました。太夫、お囃子、人形遣い、口上、MC、拍子木など、それぞれのパートに分かれ、能勢人形淨瑠璃「鹿角座」の方々に学び、お稽古をしてきました。自分の得意を生かし、表現します。

- ・挨拶 能勢町教育委員会 教育長
- ・指導講評 大阪府教育庁教育振興室高等学校課

『SGH 中間発表』

- ・SGH中間発表 今年度のSGHの取組 能勢高等学校長

タイトル『モンゴル課題研究の中間報告～モンゴル海外実態調査を通して～』

能勢高校2年「スーパーグローバルスタディ」(SGS)選択生徒11名

- 1 モンゴル海外実態調査について (英語)
- 2 課題研究発表「シャーマルの養蜂」(日本語)

- ・助言 SGH運営指導委員

本年度は、モンゴルにおける「貧困とストリートチルドレン～子どもたちへの教育～」をテーマにSGH研究を進めている。特に、着眼点として「モンゴルにおける養蜂による貧困対策」を取り上げ、能勢高校の養蜂授業とモンゴルの養蜂とを結び付け、課題研究を行っている。

これまで、大阪大学の今岡良子先生によるモンゴル講座(モンゴルの歴史、文化、自然)、本校農業科教員によるミツバチに関する講座・農場実習、多様な分野からの外部講師による講座などを通して学習・研究を進めてきた。8月にはモンゴル海外実態調査として一週間モンゴルを訪問し、現地で調査・研究・発表を行った。

本発表会では8月に実施したモンゴル海外実態調査について英語で報告し、現在取り組んでいる「シャーマルの養蜂」の課題研究を日本語で発表する。

*シャーマルは、モンゴル国最北部ロシア国境に近い人口約3,000人の町である。

全体会【第II部】 15:50~16:50 【本校体育館】

- ・SGH来賓挨拶 在大阪モンゴル国総領事館 アルザフガイ・デルゲルマー副領事
- ・記念講演 演題『海のない国モンゴル～SGH課題研究から見る文化と教育～』
講師 佐藤 紀子さん
モンゴル国文化大使 日本モンゴル文化経済交流協会会长
元在大阪モンゴル国名誉領事

〈プロフィール〉

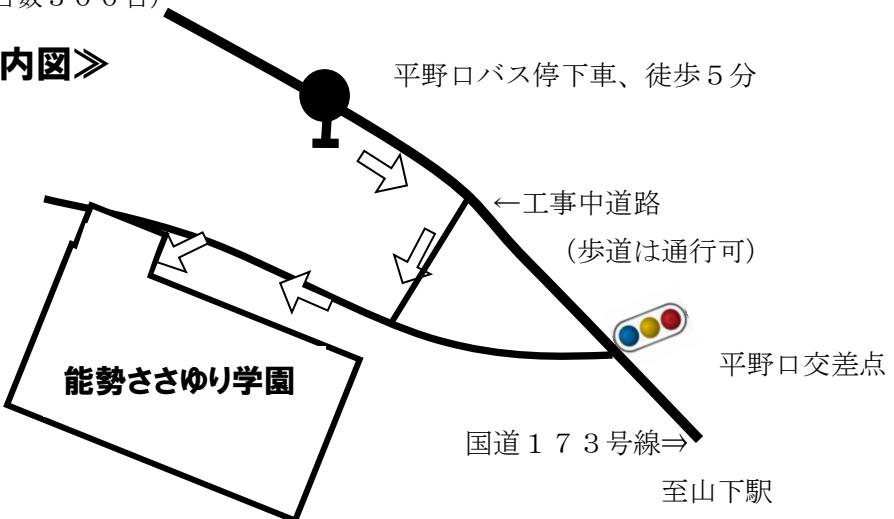
1990年 モンゴル初訪問以降、日本・モンゴルの架け橋として、モンゴル訪問回数は200回を越える。1991年日本モンゴル文化経済交流協会設立。1998年元在大阪モンゴル国名誉領事となる。2008年 モンゴル国政府より北極星勲章を受章。2014年 外務大臣表彰受賞 等。

今年は、「JAPAN TOUR 2016 モンゴル国立馬頭琴交響楽団」事務局長を務め、団長のオチルバト初代大統領とともに、10月~11月に全国公演を展開する。

- ・閉会謝辞 能勢中学校長

5. その他
- *上履きはできるだけご持参ください。
 - *能勢電鉄山下駅から阪急バスを利用される場合、便数が少ないため、あらかじめ時刻等を阪急バスホームページ等でご確認ください。
 - *自家用自動車で来られる場合は、同乗されるなど、台数を減らしていただきますようご協力ください。(駐車台数300台)

《能勢ささゆり学園までの案内図》



参加申込書

第14回研究発表会 能勢高校 SGH 中間発表会

能勢ささゆり学園 小学校教頭 福島 輝彦 中学校教頭 遠藤 克俊 宛

Tel 072-743-9028 Fax 072-743-9029

所属所名			
住所	(〒 - - -)		
TEL・FAX	TEL	- - -	FAX - - -
E-mail			

職名・名前 (ふりがな)	あてはまるものに ○	
	参加	来校手段
	<ul style="list-style-type: none"> 授業公開 ・全体会 【第Ⅰ部】 ・全体会 【第Ⅱ部】 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車で来校する ・その他 ()
	<ul style="list-style-type: none"> 授業公開 ・全体会 【第Ⅰ部】 ・全体会 【第Ⅱ部】 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車で来校する ・その他 ()
	<ul style="list-style-type: none"> 授業公開 ・全体会 【第Ⅰ部】 ・全体会 【第Ⅱ部】 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車で来校する ・その他 ()

※記入欄が足りない場合は、この用紙をコピーしてお使いください。

お申し込みは、11月16日(水)までにお願いいたします。